



モリエール

鈴木力衛 編

世界古典文学全集

モリエール

世界古典文学全集 第47巻

昭和40年 4 月25日第 1 刷発行

昭和60年 2 月20日第 5 刷発行

訳者代表 鈴木 力 衛

発 行 者 布 川 角 左 衛 門

発 行 所 株式 筑 摩 書 房
会 社

東京都千代田区神田小川町 2-8
郵便番号101-91 振替東京6-4123
電話 東京 291-7651 (営業)
294-6711 (編集)

0397-20347-4604

三晃印刷／矢島製本

乱丁・落丁本の場合は、御面倒ですが、小社読者係宛に
御送付下さい。送料小社負担にてお取替えいたします。

目次

飛び医者

鈴木力衛 5

才女気取り

鈴木力衛 15

亭主学校

鈴木力衛 33

女房学校

鈴木力衛 57

タルチュフ

鈴木力衛 93

ドン・ジュアン

鈴木力衛 135

孤客

辰野隆 175

いやいやながら医者にされ

鈴木力衛 211

ジョルジュ・ダンダン

鈴木力衛 237

守銭奴	鈴木力衛	267
町人貴族	鈴木力衛	317
スカパンの悪だくみ	鈴木力衛	363
女学者	鈴木力衛	397
解説	鈴木力衛	439
年譜		

モ
リ
エ
ー
ル

飛び医者

登場人物

ヴァレール リュシールの恋人。
 サビース リュシールの従妹。
 スガナレル ヴアレールの従僕。
 ゴルジビュス リュシールの父親。
 グロ・ルネ ゴルジビュスの従僕。
 リュシール ゴルジビュスの娘。
 弁護士

第一景

ヴァレール、サビース。

ヴァレール ところで、サビース、どんな忠告をする気だい？

サビース それはもう、どつさりあつてよ。叔父さんは従妹をどうして
 もヴィルブルカンと結婚させたいとおっしゃってるし、それにもう話
 しは進みすぎるくらい進んでるもんで、従妹があなたを好きでなかっ
 たら、今日にも結婚させられてしまうかもしれないわ。でも、従妹は
 あなたを愛してるって秘密を打ち明けてくれたし、あのないやな叔父さ
 んがあんまりけちんぼだもんで、あたしたち、にっちもさっちも行か
 ないでしょう。ですから、うまい手を見つけたして、この結婚を引き
 のばしてやろうと思うの。こうしてお話ししている今時は、従妹は
 仮病を使っているはず。そうすれば、あのだまされやすいじいさんは、
 医者を呼んで来いって、あたしにいいつつけるわ。あなたの親友のだれ
 かに話をつけて、医者だということにして寄越してくださらないか
 しら。病人には転地療養がなによりだって、すすめてもらうのよ。け
 ちんぼじいさんは、きつと従妹をこの庭のずっと向こうにある離れに
 住まわせるにちがいないわ。そうなればこつちのもの、あなたはじい
 さんにないしよで従妹と話してもできるし、結婚だってできるわけよ。
 じいさんとヴィルブルカンには、思いきり吠え面（はな）かかせてやるがいい
 わ。

ヴァレール しかし、問題は、いますぐそんな医者、ぼくのためにわざ
 わざ危ない仕事を引き受けてくれるような医者が見つかるかどうかっ
 てことさ。率直にいつて、そんな心あたりはないからね。

サビース ところが、あるのよ。あなたの従僕を医者に仕立てたらど
 う？ あんなにだまされやすいじいさんはないんだから。

ヴァレール あいつは間抜け野郎で、なにかも台なしにするかもしれ

ないがね。しかし、ほかに人がなければ、使ってみるよりしかたがない。じゃ、さようなら、探しに行つてくる。どこへ行きやがつたんだらう、あのぐくつぶしは？ あ、うまい具合に、やつてきた。

第二景

ヴァレール、スガナレル。

ヴァレール おおい！ スガナレル、おまえに会えてうれしいよ！ 大事な用件で、おまえの手を借りたいんだが、さてどうかな、おまえにできるかどうか……

スガナレル できるかどうか、ですって？ 大事なことだけに、重要な用件だけに、このわたくしを使つていただきたいもんで。たとえばでございますな、いま何時だか見てくるとか、市場でバタがいくらしているかをのぞいて来るとか、馬に水をやるとかいっような用事を言いつけてもらいたいすな。そうすればこのわたくしがどんなに役に立つか、おわかりになるはずで。

ヴァレール そんなことじゃない。おまえに医者に化けてもらいたいのだ。

スガナレル わたくしが医者に化ける！ なんにでもお望みのものになるうと思つておりましたが、医者だけはいけません、まるつきりだめなんで。どうしたらよいか、かいつもく見当がつきません。まったく、ご冗談もほどに願いたいもんで。

ヴァレール やつてくれたら、十ピストル出すんだが。

スガナレル ほほう、十ピストルくださるんなら、医者でないとは申しません。なぜって、そうじゃございませんか、旦那さま、実を言うとうわたくしはあんまり、あんまり機械のきくほうじゃございません。ところで、医者に化けて、どこへ行くんです？

ヴァレール ゴルジビュスじいさんのところへ行つて病氣になった娘さ

んを診てあげるのさ。もつとも、おまえは利口なほうじゃないから、うまくやるどころか、ことによつたら……

スガナレル いえいえ、旦那さま、どうぞご心配なく。わたくしだって人間ひとりくらいは楽に殺せますよ、その点この町の先生がたにひけは取らないつもりなんです。ほら、こういふことわざがあるじゃございませんか、「死んだあとから医者が来る」って。わたくしが腕をふるうことになったら、「医者のあとから死神のお出まし！」ってことになりまさあ。それにしても、考えてみると、医者に化けるのは容易なことじゃございません。どうもあんまりお役には立てそうもないように……

ヴァレール こんど場合は、なにもむずかしいことはありません。ゴルジビュスはお人よしで、おつむが弱いときてるから、おまえがヒボクラテスだの、ガレーヌスだのを引き合ひに出して、すこしずうずうしくぶちぎれば、じいさん、手もなく丸められてしまうさ。

スガナレル 要するに、哲学だの数学だの話しをしなきゃならん、というわけでございますな。旦那さまのおっしゃる通りに、相手がそんなカモなら、万事お引き受けいたしましょう。ただ、医者の服を着ちようだいたしたいもので。どうしたらいいかお教えいただいた上で、さつきお約束の十ピストル、つまりわたくしの免許状をお下げ渡しくださいませ。

第三景

ゴルジビュス、グロ・ルネ。

ゴルジビュス さあ、いそいで医者を呼んで来い。娘が大病だ。いそぐんだぞ。

グロ・ルネ なんだつてまあ、あんなご老人にお嬢さまをおやりになるんで？ お嬢さまのお望みは、ご自分の好きな若い殿方といっしょに

なることじゃございせんか。そのへんのところをよくお考えになつて……〔あとはアド・リップでやる〕

ゴルジビュス さつさとして来い。この病気でどうやら結婚式は延期ということになりそうだ。

グロ・ルネ それではらはらしておりますんで。たんまりご馳走にありつけるものと思っておりましたが、これでもう見込みはないようですね。お嬢さまのためにも、わたくしのために役^{やく}に立つようなお医者さまを探してまいりましょう。ほんとにもう、がっかりいたしました。

〔退場〕

第四景

サビース、ゴルジビュス、スガナレル。

サビース いいところでお目にかかれましたこと、叔父さま。すばらしいニュースをお伝えできますわ。世界一の名医をお連れしたんです。外国からおいでになったかたで、たぐいまれな治療法をご存じですのきつと、従妹の病気を治してくださいでしょう。運よく知らせてくれた人があったもんで、お連れしたんです。たいへん学のあるかたで、あたしもこのかたに治していただくために、進んで病気になるまいといよ。

ゴルジビュス どこにおいでかね、そのかたは？

サビース すぐあとからいらっしやいます。ほら、このかたで。

ゴルジビュス 先生に謹しんでごあいさつ申しあげます！ 病気になる娘を治していただくとうと、お迎えにやっただいでございまして。何分ともよろしく願ひあげます。

スガナレル ヒポクラテスいわく、しかりしこうしてガレーヌスもまた理路整然と述べております、人間は病気になる、気分^{きふん}のすぐれぬものであると。わたしに万事よろしく依頼されるのは無理からぬこと。

なんととなれば、生物学、神経学、鉱物学の領域における最大にして、もつとも博学かつ博識の医者は、ほかならぬこのわたしなのですから。ゴルジビュス これはこれは誠にありがたいことで。

スガナレル このわたしを平凡な、そんじょそこらにいる医者だと思わないでいただきたい。ほかの連中など、わたしの目から見れば、みんなほんのひよつこにすぎないのです。わたしには特殊の技能もあり、もうもろの秘法をもわきまえております。サラマレック、サラマレック。「ロドリグよ、汝に勇氣ありや？」^①「シニョール、シ、シニョール、ノン、ベル、オムニア、セークラ、セークロールム。」^②ところで、まずお脈を拝見するでしょう。〔これはゴルジビュスの脈をとる〕サビース もしもし、病人はこのかたじゃございせん、お嬢さまのほうで。

スガナレル いや、かまわん。父親の血液と娘の血液は同じもので、父親の血液に変調が起これば、それによつて娘の病気を知ることができ。ゴルジビュスさん、ご病人の尿^{うり}を拝見させていただけませんか？

ゴルジビュス おあいご用で。サビースや、娘の尿をとつておいで。〔サビース退場〕先生、わたしは心配でなりません、娘が死にはしないかと思つて。

スガナレル とんでもない！ 死なれては困る。医者^{いしや}の処方^{しやうふ}もなしに死ぬなんて、そんなけしからん法はない。ほほう、この尿をなめて見れば、高い熱のあること、内臓に大炎症を起こしていることがわかる。しかし尿の味はそれほど悪くない。

- (1) 昔の金貨、一ピストルはほぼ十フランに相当する。
- (2) ギリシアの名医、前四六〇—一三七五？
- (3) ギリシアの名医、一三一—二一〇？
- (4) トルコ語で「汝に平安あれ」の意。
- (5) コルネイユの有名な悲劇『ル・シッド』のなかにあるせりふ。
- (6) ラテン語で「ありとあらゆる世紀をつうじて」の意。

ゴルジビュスへえ、これはどうも！ 先生はこれをお飲みになるんですか？

スガナレル なにも驚くことはありません。医者とは、ふつう、見るだけで事をすましている。しかし、このわたしは、そんじょそこらにいる医者とは違うから、飲んでみるわけだ。味わってみれば、病気の原因も予後も、はっきり診断が付きましますからな。だが、実を言うと、間違いない判断を下すには、尿の量がすぎました。もつとおいっこをさせるようにしなくては。

サビーム 「退場したのち、また戻ってきて」 これだけしていただくのに、えらい苦勞をいたしました。

スガナレル これだけだつて？ こんなにあればじゅうぶんだ。たつぷりおいっこをさせなさい、たつぷりと。患者という患者がこんなにおいっこをしてくれるなら、わたしは一生、お医者稼業をつづけたいと思いますね。

サビーム 「退場したのち、また戻ってきて」 これだけしかとれませんでした。これ以上はもう出ないそうぞ。

スガナレル ほほう、ゴルジビュスさん、お嬢さんはほんの数滴しかおいっこをなさらない！ なさけない小便垂れだ、お宅のお嬢さんは。どうやら利尿剤を処方しなきゃならんようだな。ご病人を診察するわけに行きませんか？

サビーム 起きていらつしやいますから、なんならお連れいたしましやう。

第五景

リュニール、サビーム。

スガナレル どうしたんです、お嬢さん、お加減が悪いんですか？
リュニール はい、先生。

スガナレル それはいかん！ 体の調子が悪い証拠です。頭がひどく痛みますか？ 腰は？

リュニール はい、先生。

スガナレル 大いに結構。かの偉大なる医者は、動物の性質に関する章において述べておる……数限りなく立派なことをばな。よろしいかね、たがいに連絡のあるさまざまな体液は、それぞれ密接な関係を持っており、かるがゆえに、たとえば憂鬱症は喜びの敵であり、体内にひろがる胆汁は、われわれを黄色にし、病気ほど健康の反対の極点にあるものはない。われわれはこの偉大なる学者とともに、次のごとく断定することはできる、すなわちお宅のお嬢さんは大病人であると。処方をして進めねばなるまい。

ゴルジビュス 急いで机と、紙とインキを。

スガナレル この家にだれか字の書ける人はおいでかな？

ゴルジビュス 先生はお書きになれませんか？

スガナレル いや、よく思い出せないもんでね。頭のなかに、あんまりいろんなことが詰まっているんで、あらかた忘れてしまいました、……ともかく、お嬢さんにとって必要なことは、新鮮な空気を吸い、田舎で気晴らしすることだと思えますね。

ゴルジビュス わたくしどもにはごく美しい庭と、そこに建っているいくつかの部屋がございます。先生がよろしいとおっしゃれば、そこへ娘を寝泊まりさせたいと存じます。

スガナレル では、さっそく拝見にまいりましょう。〔一同退場〕

第六景

弁護士。

弁護士 ゴルジビュスさんの娘御がご病気だとやら。ご機嫌をうかがうたうえ、ご家族みなさまの友人として、なにかのお役に立ちたいもの

だ。もしもし！ ゴルジビュスさん、ご在宅ですか？

第七景

ゴルジビュス、弁護士。

ゴルジビュス やあ、いらつしやい。「あとはアド・リップで」

弁護士 お嬢さまがご病氣とうけたまわりまして、わたくしがどんなに心配しているか、その氣持をお伝えすると同時に、できるかぎりお力になりたいと存じて参上いたしました。

ゴルジビュス わたしは世界一の名医のご診察を仰いでいたところです。弁護士 その先生と、ほんのしばらくでも 話しをさせていただきませんか？

第八景

ゴルジビュス、弁護士、スガナレル。

ゴルジビュス 先生、こちらはわたしの友人で、なかなか学問のあるかたでございますが、先生のお相手をして、いろいろお話しをうかがいたいと申されております。

スガナレル わたしにはそんなひまはありません、ゴルジビュスさん。病人たちを見に行かねばなりませんから。あなたと握手することはお断わりいたします。

弁護士 ゴルジビュスさんから、先生の深い学殖とご造詣すくせのほどをうかがい、ぜひおちかづきになりたいと存じておりました。そんなわけで、失礼をもちえりみず、ごあいさつ申しあげた次第です。悪くおとりにならないでください。なにかの学問にすぐれた人びと、とりわけ医学を職業としておられるかたがたは、大きな賞讃に値すると申さねばな

りません。なんとなれば医学は人類を益するのみならず、そのなかに他のさまざまな学問を含み、これを完全に知ることはきわめて困難だからであります。かるがゆえに、ヒポクラテスはその第一の金言のなかで、きわめて適切にも、次のように述べております。「ヴィタ・ブレヴィス、アルス・ヴェロ・ロング、オカシオ・アウテム・プレレキレ」^③

スガナレル フィキレ・タンティナ・ボタ・バリル・カンブステイブス。

弁護士 先生は合理的もしくは独断的と呼ばれる医学にのみ専心なさるようなかたではなく、これを巧みに行使することによって、毎日多大なる成果を挙げておられると信じます。エクスペリエンティア・マギストラ・レールム^④。医学に従事した先覚者たちは、このようなすぐれた学問を持つがゆえに人びとの尊敬の的となり、日々にすばらしい治療をすることによって、神々の列に加えられたのであります。医者が病人を健康にすることができなくても軽蔑してはなりません。なぜなら、健康は医者の薬とか知識のみによるものではないからです。

インテルドゥム・ドクタ・プルス・ヴァレット・アルテ・マールム^⑤。

先生、これ以上お邪魔しては恐縮ですので、失礼いたします。こんどお目にかかれたら、もつとゆっくりお話ししたいと存じます。先生のお時間は貴重であり、「あとはアド・リップで」

(1) 中世から十七世紀ころまでは、人間の体内に血、粘液、胆汁、黒胆汁の四つの体液が流れていると考えられていた。

(2) 「人生は短く、一芸に達するには長い時間がかかり、経験は信頼するに足らず、評価することは困難である」

(3) インチキなラテン語。

(4) 「すべてものを教えるものは経験である」の意。

(5) 「ときとして、悪は学芸や技術よりも強し」オヴィディウスの言葉。

ゴルジビュス どうお思いになります、あの男を？

スガナレル ほんのちよつびり物を知っておりますな。あの男がもうすこしここに残っていたら、崇高かつ高尚な問題について議論を吹きかけてやるつもりでした。さて、わたしも失礼するでしょう。「ゴルジビュス、スガナレルに金を渡す」これこれ、なにをなさる？

スガナレル 冗談じゃないですよ、ゴルジビュスさん。受け取れるんですか、わたしは金ずくで動くような男じゃありません。「かれは金を受け取る」じゃ、さようなら。

〔スガナレル退場。ゴルジビュスは家に入る〕

第九景

ヴァレール。

ヴァレール スガナレルのやつ、なにをしてるんだらう、さつぱり様子がわからない。どこへ行ったら会えるやら、気が気じゃないよ。「スガナレル、従僕の服装で戻ってくる」あ、しめた、あそこだ。おい、どうした！ スガナレル、ずいぶん会わなかったが、いったいなにをしてんだ？

第十景

スガナレル、ヴァレール。

スガナレル 首尾は上乘、あんまり上手にやつてのけたもんで、ゴルジビュスの大将、わたしを名医だと思ひこんでおります。わたしはやつこさんの家へ乗りこんで、娘さんは外の空気を吸ったほうがよからう、と言つてやりました。そのお嬢さんは、いま、庭はずれの建物におい

です。ともかく、じいさんはずっと向こうにおりますから、会いにいらつしやるのはどう גם ありませんぜ。

ヴァレール いや、そいつはどうもありがとう！ ぐずぐずしないで、この足で会いに行こう。

スガナレル あのゴルジビュスの大将は、まったくの間抜けでございますなあ、こんなふうにも、手もなく丸めこまれてしまうなんて。「ゴルジビュスがそこにゐるのに気がついて」や、こりやたいへん、万事休すだ。これでせつかくの医学も化けの皮をはがされたわい。しかし、なんとかしてこの場をつくらわなくちゃあ。

第十一景

スガナレル、ゴルジビュス。

ゴルジビュス やあ、今日は。

スガナレル はあ、ご機嫌よう。ごらんのとおり、わたくしは弱りはてております。あなたはご存じないでしょうか、しばらく前にこの町へやつてきて、すばらしい治療をするというお医者さんを？

ゴルジビュス ええ、存じておりますとも。さつき家から出て行かれました。

スガナレル わたくしはその弟でございます。わたくしたちは双生児^{ふたご}で、あんまりよく似ておりますもんで、ときどき人違いされるのでございます。

ゴルジビュス いや、まったく、わしだって間違えずにやられない。ところで、あなたのお名前は？

スガナレル ナルシスと申します。何分よろしく。兄の部屋で、テーブルの端に載つていたガソリンの壺を二本ひっくりかえましたところ、兄はいきなりものすごく腹を立て、わたくしを家から追い出してしまいました。もう二度とわたくしの顔を見たくないと申しております。

そんなわけで、わたくしはいま頼る人も、する人もない哀れな身の上でございまして。

ゴルジビュス よろしい。わたしが話をつけてあげましょう。わたしはあの人の友人です。きつと仲直りさせて差しあげます。お目にかかったら、さっそく話しておきましょう。

スガナレル ありがとうございます。ゴルジビュスさん。

〔スガナレル、退場し、すぐ医者服を着て戻ってくる〕

第十二景

スガナレル、ゴルジビュス。

スガナレル 病人が医者注意を守ろうとせず、勝手放題なことをするとしたら……

ゴルジビュス 先生、ご機嫌よろしゅう。ひとつお願いがございますが、スガナレル どうしたのです？ なにかお役に立つことでもありますか？

ゴルジビュス 先生、さっき先生の弟さんにお目にかかりましたが、すっかり恐縮しておられました……

スガナレル あれはけしからんやつです、ゴルジビュスさん。

ゴルジビュス 誓って申しますが、先生のお怒りを買ったことを心から後悔しておられます……

スガナレル あれは酔っぱらいです、ゴルジビュスさん。

ゴルジビュス あのかわいそうな若者を絶望させようとなさるんで？

スガナレル その話はもう聞きたくありません。あなたにとりなしを求めに行くなんて、厚かましいにもほどがあるじゃありませんか。お願いです、あの悪党の話はもうなさらないでください。

ゴルジビュス 後生です、先生、このわたしに免じて、そこをひとつよろしく願います。ほかのことでお役に立てるなら、なんなりと喜んで

いたします、もう約束もしたことですし、それに……

スガナレル それほどまでにおつしやるなら、絶対に許すまいと決心したものの、さあ、握手いたしましょう、あいづを許してやることにします。ならぬ我慢をするわけですが、これもひとえにあなたのお顔を立てたまでで。ではご機嫌よう、ゴルジビュスさん。

ゴルジビュス 先生、どうも失礼いたしました。いそいであのかわいいような若者を探し出し、このよい便りを伝えてやりましょう。

〔ゴルジビュスは家に入り、スガナレルは立ち去る〕

第十三景

ヴァレール、スガナレル。

ヴァレール 思いもかけなかったよ、スガナレルがあんなに上手にお役目をやつのけたとは。〔スガナレル、従僕服を着て戻ってくる〕やあ、おまえ、ほんとにご苦労だった！ 心から感謝するよ！ そして……

スガナレル まったく、のんびりしたもんですなあ、あなたの話しぶりは。さっきゴルジビュスに出くわしたんですよ。わたしが要領よくやつのけなかったら、なにもかもばれてしまうところでした。さあ、お逃げなさい、あの男がやってきました。

第十四景

ゴルジビュス、スガナレル。

ゴルジビュス あなたを探しまわっていたんですよ、お兄さんにお話ししたことをお伝えしようと思って。お兄さんはあなたを許すと誓ってくれました。でも、念のため、わたしの目の前で、お二人で抱き合っ

ていただきたいと存じます。家へお入りください。お兄さんと呼んできますから。

スガナレル いいえ、ゴルジビュスさん、いま兄にはお会いになれますまい。それに、わたしは兄に叱られるのがこわいので、お宅にじっとしているわけにはまいりません。

ゴルジビュス そんなことを言わないで、ここにいてください。あなたを家に閉じこめておきましょう。これからお兄さんを探してきます。心配することはありません。わたしが請け合いますよ、お兄さんがもう怒っていらっしやらないことは。

「ゴルジビュス、出て行く」
スガナレル 「窓のところから」まったく、こいつは一本やられたわい。いまさら逃げ出すわけにも行くまいな。雲は厚いし、その雲が裂けたら、おれの背中にも棍棒が雨あられみたいに降ってくるだろうよ。さもないや、医者の方方よりもっと恐ろしいご命令で、国王さまの焼きごてがおれの両肩に押されるかもしれない。形勢不利になってきたぞ。だが、絶望するのはまだ早い。あれだけやってきたんだから、とことんまでベテンの一手で行くとしよう。そうだ、そうだ、なんとかしてもう一度ここから抜け出して、スガナレルはベテンの王さまだということを見せてやろう。

第十五景

グロ・ルネ、ゴルジビュス、スガナレル。

グロ・ルネ おや！ へんだぞ！ 悪魔みたいに窓から飛び出して行くやつがいる！ ここに頑張っていて、どうなるか見とどけてやろう。
ゴルジビュス どうしてもあのお医者さまが見つからない。どこへ隠れてしまったんだらう。「医者」の服で戻ってきたスガナレルに気がついて「あ、あそこだ。先生、弟さんを許してあげればかりでなく、わたしの満足が行くように、お二人で抱き合ってみてください。弟さん

は家においでです。わたしの目の前で仲直りしていただきたいと思つて、あちこち探しておりました。

スガナレル ご冗談でしょう、ゴルジビュスさん。許してやっただけでは足りないとおっしゃるんですか？ 弟には絶対に会いたくありません。

ゴルジビュス でも、先生、そこはわたしの顔を立てて。

スガナレル あなたには、いやと申せません。降りてくるように、おっしゃってください。

「ゴルジビュスが入口から家へ入るあいだに、スガナレルは窓から入ってくる」

ゴルジビュス 「窓のところで」弟さんはあそこで待つておられます。なんでもこちらの言うとおりにする、と約束してくださいました。

スガナレル 「窓から」ゴルジビュスさん、兄をこちらへ呼んでいただけませんか。二人きりのところで詫言を入れたいのです。みんなの前では、どんなにののしられ、恥をかかされるかしれませんから。

「ゴルジビュスは門から家を出る。スガナレルは窓から外へ出る」

ゴルジビュス よろしい。お兄さんに言つてあげましょう。先生、弟さんは恥ずかしがつていられます。差し向いでお詫言が述べたいから、家のなかへ入つてくれとおっしゃっています。ほら、鍵はこちらに、どうぞお入りください。いやだなどとおっしゃらずに、わたしを喜ばせていただきたいもので。

スガナレル あなたに喜んでいただけるなら、なんなりといたしましう。わたしがどんなふうに弟を扱うか、ひとつお聞き願ひましよう。

「窓のほうに向つて」こら！ この悪魔め、そこにいたのか？——お兄さん、ごめんください、ぼくのせいじゃないんですよ。——なに、ぼくのせいじゃないって？ このならずもの、ごくつぶしめ。おまえはまともな暮らしができないのか？ ゴルジビュスさんにご迷惑をかけ、へまの尻ぬぐいをさせるとは！——お兄さん………黙れというのに。

「ほくはなにも……黙れつたら、悪党め！」

グロ・ルネ いま家のなかに、だれがいるとお思いです？

ゴルジビュス お医者さまと、その弟のナルシスさんだよ。ちよつとしたいざこざがあって、いま仲直りしているのさ。

グロ・ルネ 冗談じゃありませんぜ！二人は一人なんで。

スガナレル 「窓のほうに向つて」この酔っぱらいめ、ちゃんとした暮しぶりを教えてやろう。目を伏せているな！自分でも、まをされたことがわかつているんだらう、ろくでなしめ。こら！この猫つかぶりめ、そんな善人面をするもんじゃない！

グロ・ルネ もしもし、お願いです、弟さんに窓から顔を出すようにおつしやつていただけませんか。

ゴルジビュス そうですとも、先生、窓に顔を出すように言ってください。

スガナレル 「窓のところから」弟はご立派なかたがたの前に出る資格はありませんし、自分のそばに置く気にもなれません。

ゴルジビュス 先生、どうぞこの願いをかなえてください。これまであれほどよくしてくだすったんですから。

スガナレル 「窓のところから」いやはや、ゴルジビュスさん、あなたにぜひと言われては、お断わりできません。——さあ、出て来い、悪党め。「スガナレルは一時姿を消して、従僕の服装であらわれる」——ゴルジビュスさん、どうもありがとうございました。「かれはまたもや姿を消し、すぐ医者服であらわれる」——どうです、あのならずものの顔をごらんになったでしょう？

グロ・ルネ どう見ても二人は一人でございますよ。その証拠に、お二人がごいっしょのところを拝見したい、とおつしやつてみたら？

ゴルジビュス そう、あなたとごいっしょに出てきていただけませんか。窓のところでお二人が抱き合うのを、この目で拝見したいものです。

スガナレル 「窓のところから」ほかの人になら、お断わりするところですが、あなたのためならなんでもするという気持をお伝えするため

に、我慢して心を決めました。あいつがこれまでさんざんあなたにご迷惑をおかけしたことを、前もってあやまらせてやりましょう。——はい、ゴルジビュスさん、こんなに心配をおかけて、ほんとに申しわけございませんでした。お兄さん、そこにおいでになるゴルジビュスさんの前で誓います、これから心を改めて、お兄さんにご迷惑のかかるようなことはいたしません。これまでのことはどうぞ水に流してください。「かれは肱の下に置いた自分の帽子と円ひだ襟に接吻する」

ゴルジビュス あれ！お二人いっしょにいらつしやるじゃないか？

グロ・ルネ へへえ、まったく魔法使みたいな人ですな。

スガナレル 「医者服で、家から出て来る」ゴルジビュスさん、お宅の鍵をお返しします。あの悪党といっしょに降りて来る気にはなれませんでした。こちらが肩身の狭い思いをしなければなりませんからね。この町で、あいつと連れ立って歩いているところを見られたくないんです。わたしだつてこの町じゃ、多少は評判を取っておりますから。あなたのお好きなきに、あいつを追いつてやってください。ではこれで失礼します、ご機嫌よう。

「かれは出て行くようなふりをして、医者服を脱ぎ、窓から家のなかへ入ってくる」

ゴルジビュス あのかわいそうな青年を外に出してあげなくちゃ。お兄さんに許してはもらつたものの、ずいぶんひどい目にあわされたんだから。

「かれは家のなかにはいり、従僕の服を着たスガナレルといっしょに出てくる」

スガナレル いろいろご心配をかけたり、ご親切にいただいたりして、ありがとうございました。ご恩は一生忘れません。

グロ・ルネ お医者さまはいまどちらにおいででしょう？

ゴルジビュス あちらへ行かれたようだ。

グロ・ルネ 「スガナレルの服を拾いあげて」さあ、とうとうつかまえ

たぞ。こいつですよ、医者になりすませて、旦那さまをだました悪党は。こいつが旦那さまをだまして、この家で茶番をやっているあいだに、ヴァレールとお嬢さまはいつしよになって、ドロンをきめこんだというわけ。

ゴルジビュス ああ！ ひどいことになったもんだ！ だがきさまはきつとしばり首にしてやるぞ、ベテン師の悪党め！

スガナレル もしもし、わたしの首をくくって、どうなるというんです？ お願いですから、ちょっと聞いてください。わたしの計らいでうちの主人とお宅のお嬢さんがいつしよにいられることは事実ですが、主人に仕えながら、わたしはあなたのお役に立っているんです。お手柄といい、財産といい、お嬢さんにふさわしいご縁だったじゃありませんか。騒ぎ立てたりなすつたら、かえっておためになりません。この悪党をウィルブルカンといっしよに、叩き出してください。あ、恋人たちがやってきました。

最終景

ヴァレール、リュシール、ゴルジビュス、スガナレル。

ヴァレール あなたの膝もとにひれ伏してお詫び申しあげます。
ゴルジビュス 許してあげましょう。スガナレルにだまされたのは、か

えって仕合せでした。こんな立派な婿が持てたんだから。さあ、結婚式の用意をして、みんなの健康のために、盃をあげるとしよ。